



第133号

三愛学園

令和3年1月10日発行
さんあい広報タスク

社会福祉法人 三愛学園

〒369-0212 埼玉県深谷市櫛挽 15-2

Tel 048-585-0605 Fax 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL san-ai-jidouyougo.org

ブログ 70の瞳

児童養護施設さんあい

一時保護所オリーブ

ファミリーホーム三愛茜の里

自立援助ホーム三愛子ひつじ寮



新年の感謝

理事長・施設長 高瀬 一使徒



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願い致します。

社会福祉法人三愛学園の理念である三愛精神（神を愛し、人を愛し、土を愛す）の愛は、「大切にする」と言い換えることができます。さらに大切にするの中には、感謝することが含まれます。コロナ禍で感謝を忘れがちな私たちですので、新年を感謝することから始めたいと思います。

まず、年末年始関係なく、子どもたちの生活を支えてくれる職員に感謝します。単なる仕事としてだけではなく、プロとしての意識をもって体調管理を欠かさず私的生活においても子どもたちの模範となる行動を意識してくれます。また、ご近所や遠方にあって、さんあいを支えてくださる方々にも感謝いたします。 年間を通して沢山の方々の寄付や献品、そしてボランティア活動に支えられています。

子どもたちに感謝します。さんあいの子は、喧嘩はよくしますが 繼続的に強い子が弱い子をいじめるということはありません。学校でもいじめる側にいることはありません。仲のいい友達やグループがいじめる側にいるようなことがあると、その友達やグループに居づらさを感じ、距離を置くのがこの子ども達です。さんあいの生活では様々な課題を抱えていますが、弱い立場の子の思いや痛みを経験的に知っています。「自分が弱い立場だから、強くなつて弱い者を押しのけて上に立つ」という思いも野心もありません。 私は、そのことを大いに自慢し、感謝したいのです。

そして最後に、旧年中のさんあいの子どもたちと職員を守ってくださった神様に感謝します。そして新年も同じように守ってくれると信じて心より感謝します。法人全体の責任を託された者として力不足や限界を感じることしばしばです。自己嫌悪に陥ることもあります。そんな時、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」という聖書の言葉に支えられています。年が明けても世界全体がコロナ禍にあることには変わりありません。私たちのコントロールできないことばかりです。ですので、今年もマイナスをプラスに変えてくださる神様に大いに甘えて歩んで行きたいと思います。



新型コロナウイルス対策

新年も引き続き子どもたちの行動制限や面会等の制限をし、そして職員の行動自粛等の対応をもって感染防止に努めます。特に、感染のリスクが高くなる 3 密や不特定多数での飲食自粛、手洗いの徹底、そして睡眠や栄養等の個人の健康管理を怠らないことを重要視いたします。また、もし感染者が出た場合の対応の仕方等もマニュアル化されていますが、「いつ出てもおかしくない」という意識で即実施できるよう準備を欠かさないようにします。

さんあいの



3代目もみの木

3代目もみの木

13年間さんあい中庭の真ん中で、子どもたちを見守ってくれたクリスマスツリー（もみの木）が、10月に枯れてしまいました。夏までは、頑張ってみんなを見守ってくれていたのですが。。。秋に入り、とうとう枯れてしまいました。植木屋さん曰く、ここ数年続いた大型台風に伴う中庭の冠水で根がやられてしまつたのだとか。そういえば、数年前より幹の成長が止まり、枝の勢いもなくなってしまいました。クリスマス時期は、本物のツリーとして電飾をまとい施設全体に喜びと癒しを与えてくれました。14年間ありがとうございました。

3代目のツリーとして11月に新しいもみの木を植えました。今年からこの木がクリスマスツリーとして活躍してくれます。



点灯式

クリスマスソングが流れる中、子ども達も職員も中庭に集まって点灯の瞬間を待ちます。幼児さん達も3、2、1点灯～と、元気一杯カウントダウン！

【クリスマス会 第1部 礼拝】



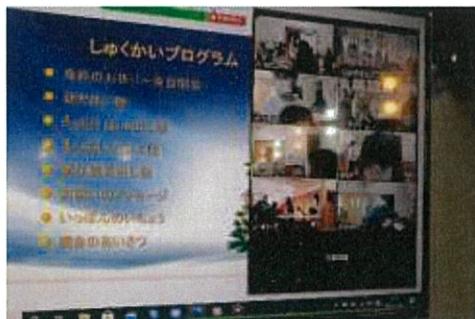
12月25日 クリスマス会を行いました。
第1部は礼拝を行い、第2部は会食を行いました。
礼拝では、クランツのろうそくに火を灯、イエス様の降誕の映像を観て、献金をお捧げしてからお祈りをし、おごそかにクリスマスのお祝いを行いました。



クリスマス

【クリスマス会 第2部 会食】

今回のクリスマス会は、新型コロナの影響もあり、今までとは全く違う形で行う事にしました。大きく変わった事としては、1つ目は、交流ホールでの会食を失くし、各居室での食事にした事。2つ目は、いつも皆が楽しみにしている出し物も出来ない状況なので、インターネット動画配信に挑戦した事です。動画配信には、事前に歌や出し物を録画して、それを各居室のパソコンに流しそせぞれ居室で視聴しました。全てが初めての挑戦なので、職員も四苦八苦していましたが、新しい生活様式の中での園内行事の楽しみ方として、職員の引き出しも1つ増えたのかなと思います！



職員手作りの飾り



動画配信を見ながらの食事



男性職員によるサンタさんが各お部屋にプレゼントを配ります。



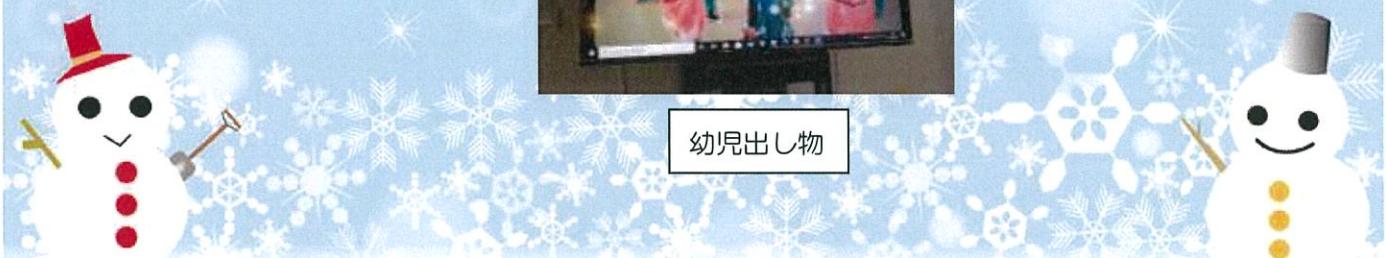
プレゼントありがとう♪



さんあいバレイ団



幼児出し物



令和3年 新年の抱負

新年の抱負をそれぞれのホームごとに漢字一文字で表しました。

7ホーム七色の新年の抱負です。

希

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行によっていつもと違う制約された生活でした。今年は早く普段通りの日常に戻ることを願っています。子ども達と一緒に希望をもって元気に頑張ります!!

ねむのき

力

ポプラは毎日賑やかで個性豊かな子ども達が多く、力を持て余しています！その力を最大限に活かして行きたい！「学ぶ力」「楽しむ力」「相手を思いやる力」など、これから沢山の輝く力を身に付けて欲しいと願いを込めて…。

ぽぷら

進

いちょうの新年の抱負は「進」にしました。この春に、卒業しさんあいを退所する子、進学する子がいます。新しい環境でも、これからも自分らしく一歩一歩進んで行けたら良いなと思いこの漢字を選びました。

いちょう

伸

ひのきは今年度の11月に小3男児を送り出し、新たに他居室から年中男児が移動してきました。新生ひのきは子どもが子どもらしく伸び伸びと育っていくける居室づくりを目指していきます！心も身体も大きくなあれ～♪

ひのき

健

今年は卒業年次の児童が多いこと、受験を控えている児童もいるので、何事もなく健康で卒業式や受験を迎えることが出来るようにしていきたいです。全員が健やかに成長できるような居室にしていきたいと思います。

もみのき

笑

今年度は入れ替えが激しかったですが、職員も子どもも個性が強いメンバーがそろつたかしのき。それぞれのぶとんだ行動や発言にはコロナで大変な中でもたくさん笑わせてもらいました。来年度も笑いの絶えない1年にしたいです。

かしのき

福

様々な事情でオリーブに来る子ども達、辛いかもしれません、「笑門来福」。まずは、職員が笑顔の見本となり、子ども達に伝えていきたいと思います。たくさん笑い、皆のともに幸福が舞い降りますように。

オリーブ

一時保護所：オリーブの学習ボランティア紹介

一時保護所オリーブに入所する子どもたちの多くが、一時的に家を離れているゆえに地元の学校に行くことが出来ません。その間の子どもたちの学習は、職員が見ることになりますが、決して十分ではありません。それを補ってくださるのが林先生、荒井先生、坂本先生の3人の学習ボランティアの方々です。今回はその先生方を紹介致します。

林 先 生

「一期一会、いつもこれが最後になっても良い心構えで子どもたちと向き合っています」と話す林先生は大学・大学院で心理学を学んでおられた際に、臨床体験をする場として紹介されたことからさんあいに来られるようになり、もう5年目になりました。



荒 井 先 生

中学校で理科の教鞭を取っていた事もあり、ここでは理科の復習を中心に教えて頂いています。「学習半分、心の教育半分」と、時には心に響く詩などを用いて子ども達に勉強以外での大切な事も教えて頂いています。



坂 本 先 生

自分の出来る事で、何かボランティア活動をやりたいと色々な研修会に参加し、多方面の分野を学ぶ為講義を聞きに足を運び、さんあいとの出会いがあったとの事。“楽しんでやる”事をモットーに「もう一年が過ぎましたね」と笑顔でおっしゃって下さいました。



茜の里・新入職員紹介

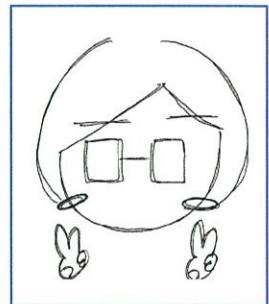
1月からファミリーホーム三愛茜の里の職員になりました荻原です。

いくつかの施設を経験してきました。経験年数と年齢はちょっと多めですが、これらを活かし子ども達と楽しく生活を共にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



さんあいインタビュー

「このクリスマスで入職して6年と8ヶ月になります。あっという間に7年目が過ぎようとしています。」と明るく笑う河村さんは女の子ブロック主任。女の子を担当する職員9人の相談役です。



① さんあいで働きたいと思うようになったきっかけは何ですか？

今年、さんあいから子ひつじ寮に異動になった職員の浅野さんは私の大学の先輩です。私が大学1年生の時に、その浅野さんからさんあいで学習ボランティアをしないかと声をかけていただきました。それから1年程、ボランティアをさせていただいたのですが、その時の私は車の免許を持っていなかったので通い続ける事が難しく、途中で終わりにせざるをえなくなってしまいました。ただ、その後も浅野さんとは繋がりがあり、何度もご飯に連れて行っていただきました。そこで、この仕事を話す内に、自分もやってみたい！と思うようになりました。



子どもたちと楽しむ、仕事の原点です。

② 入職前に想像していたことと、実際に働いてみての違いはありましたか？

入職の前年、12月からボランティアとして全てのお部屋に入らせていただきました。子どもと関わっている時はただただ楽しかったのですが、職員の動き（ルーティンワーク）を間近で見た時に初めて「はたしてこれを1人だけで出来るのだろうか・・・」と不安になりました。それを統括の青木お兄さんに伝えた時、「そう思ってくれて安心した、今まで本気で楽しんでいたから心配していたんだよ」と言われた事は今でもよく覚えています。業務的な事で言うと、思っていた以上に書類仕事が多く、締め切りに間に合わず先輩職員に泣きついた事もありました。（笑）

③ 入職して、一番辛かったことと一番うれしかったことは何ですか？

辛い事・・・子どもたちから暴言を吐かれたり、身体的な暴力を受けたりしたこともあります、今となっては笑い話です。嬉しかったことは沢山あります！小1児童を担当していた時、運動会に向けて毎日一緒にラジオ体操を練習しましたが、本番で頑張っている姿を見た時は涙が出ました。反抗期真っ只中の小6児童を担当していた時、最後の授業参観で手紙を読んでくれたのですが、他の子が皆「お母さんへ」と読み始める中、その子が堂々と「河村さんへ」と言った時も思わず泣いてしまいました。他にも、子どもたちからの手紙、サプライズで誕生日をお祝いしてくれた事、どれもお金や時間に代えられないものだと思っています。

④ 主任の仕事をしていて、おもしろいなと思うこと、反対に難しいな、と思うことは何ですか？

主任の仕事は難しい事が多い・・・と思います。私の今年の目標が「伝わるように伝える」ですが、1つの事が間違つて伝わってしまった時にブロック全体が別の方向へ行ってしまう事を考えると、自分自身の言葉はとても責任重大なのだと



日々子どもたちと向き合う職員一人一人の気づきを大切にしています。

と感じます。また、職員一人ひとりの強みを現場で活かしてやりがいを持って働くことができるよう、私自身もっともっと職員一人ひとりの事を理解しなければと思います。

① 仕事の支えになっていることはなんでしょうか？

仕事の支えになっているのは、自分が現場にいた時に苦労を分かち合った職員と昔話をする事ですかね

(笑)「あの頃はあんな事があって大変だったよね」と話す事で、全て笑い話に変わり、この仕事を続けていて良かったなとも思います。



② ストレスを解消するために何かしていますか？

今はコロナの影響もありどこにも行けませんが、音楽フェスが大好きで、以前は季節に関係なく行っていました。あとは、漫画を読むことが大好きなので、休みの日はひたすら漫画を読んで過ごしています。

③ 今後の希望や抱負はありますか？

動物ではカピバラさんが一番好きです。

私は教員を目指していたので社会福祉について今まできちんと学んだ事がなく、知識もない中で主任という立場になってしまったので、いずれはまた学校に行き、社会福祉について学びたいと思っています。

④ これから児童養護施設で働くことを希望している方々へメッセージをお願いします。

この仕事は辛い事も沢山ありますが、それ以上に嬉しいことはお金や時間に代えられないほど価値のあるものだと思っています。「子どもの成長を信じて待つ」、それはとても大変で自分自身との戦いにもなりますが、子どもの成長を感じた時、「この仕事続けていて良かった」とやりがいを感じます。自分自身の未熟さに悩むことも多いですが、「もっとこうなりたい！」「これができるようになりたい！」と向上心を持ち続けて欲しいと思います。

カフェさんあい（ブログより）

12月6日、クリスマスの意味とクリスマス献金のことを学ぶために「カフェさんあい」を開きました。

クリスマスは、神の御子、救い主イエス様が人類へのプレゼントとしてお生まれになった日です。

だからクリスマスにプレゼントを交換する習慣が始まりました。また、イエス様は、生まれた後でヘロデ王から命を狙われ、エジプトに難民として逃れました。だからさんあいの子どもたちと職員のクリスマス献金は、難民支援のために使います。難民支援の経験のある職員が、世界の難民の様子を子どもたちに伝えました。

小さな子も難民の話を最後まで聞いてくれました。



茜の里の日々

茜の里の子ども達は、活力にあふれ、笑顔で周囲を明るくしてくれます。いつも笑い声が絶えない日々を送っていますが、やはり養育は大変です。しかし、同等以上の喜びを子どもたちは与えてくれ、それが養育者の活力となっています。今、新型コロナウイルスの影響下で子どもたちの様々な活動が制限されています。いつ終息するか予想がつきませんが、子どもたちが茜の里で安心して暮らし、心豊かに育つことができるよう、地域や周囲に支えられながら、今後も子ども達の自立を支援しながら成長を見守っていきたいと思います。（野口）

防犯講習会

深谷警察の方に来園して頂き防犯講習を受けました。不審者の対応の仕方や刺又の扱い方等を学ぶことが出来良かったです。今年度就職をし、今まで守って貰っていた側でいましたが、今度は子ども達を守る側の立場になったので、もしもの時は動けるようにしたいです。前に出て警察の方と練習した際は、緊張しましたがとても良い経験が出来ました。今後活かせていけたらと思っています。（梶原）

CAP研修

NPO 法人 CAP くれよんの方々を講師に招き、10月に職員、11月に子どもたちを対象に研修を行いました。CAP（キャップ）とは、子どもへの暴力防止 Child Assault Prevention の頭文字をとったものです。子どもがいじめ・虐待・体罰・誘拐・痴漢・性暴力など様々な暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。幼児から中高生まで、それぞれのレベルに応じて、劇を見たり、実際に場面を演じたりといった方法で学びました。抽象的で大人でも理解や応用が難しい権利の概念を、「安心、自信、自由」という子どもたちにもわかりやすいことばに置き換えることで、子ども達一人ひとりが権利をもっていること、大人たちはそれを守らなければならぬことが理解できました。（平本）

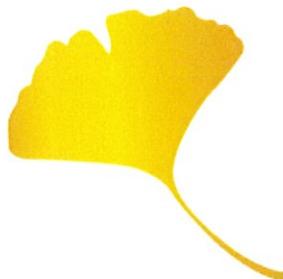
オリーブの日々

最近の子ども達のマイブームは、NiziUを踊る事です。「オリーブにNiziUがいる！」と声を掛けると、嬉しそうです。踊りを覚えるのも早く驚きました。幼児も踊ったり、歌を口ずさんだりしています。どのメンバーが好きなのかと職員も含め、皆の好みを聞いたり、時には BTS を踊っている事もあります。コロナがなかなか落ち着きませんが、子ども達は楽しみを見つける名人だと再確認したのと同時に発想力と生き抜く力に驚く日々です。（柳井）

大掃除

12月19日にさんあい全体で大掃除を行いました。子ども達は自室を中心に、職員は普段手が届きにくいキッチン周りやリビング、天窓なども掃除を行いました。部屋の中の物を断捨離していく、次第にスッキリしていました。子ども達の居室内の物をひっくり返すような勢いで掃除をしていく姿を見て、やる気を伺うことが出来ました。一通り掃除を終えた室内を見ると見違える程キレイになり、達成感を感じる事が出来、良い年末年始を迎えるそうです。（奈良）

いちょうの広場



さんあいのアニマルセラピー

動物達のお世話を毎日行う中で最近感じる事は、犬のポニーが前にも増してとっても元気になってきているという事です。以前はさんあいのグラウンド内を散歩していましたが、今は少し遠くまで畠の中の道を散歩します。子ども達が走るとポニーも一緒に全速力で走ります。日に日にポニーの走るスピードが上がっているように感じます。広々とした畠の中を思いっきり走り、子ども達に沢山なでてもらい、抱っこしてもらい、ポニーも嬉しそうにしっぽを振ります。セラピー効果は子ども達のみならずポニーの方にも表れているような気がする今日この頃です。（村尾）

いつも暖かいご支援ありがとうございます。

*ご寄付は同封の振込用紙 又は 下記の口座にお願い致します。連絡先を入れて下さい。
埼玉りそな 岡部支店 普 0058888

編集後記

寒さも厳しくなり鍋料理が美味しい季節ですね。さんあいの子ども達も職員も大好きなメニューのひとつです。沢山お野菜を入れビタミンやミネラルを摂り、身体も温まり免疫力はアップします。この時期猛威を振るうインフルエンザも、まだ先の見えないコロナも乗り切っていけたらと思っています。〆のうどんは皆さん大人気です。

（広報タスク一同）